

令和3年度 ボランティア保険のご案内

◎ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故による「ケガ」や「損害賠償責任」を補償します。

◎補償期間（保険期間）

令和3年4月1日午前0時から令和4年3月31日午後12時まで

※中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から令和4年3月31日午後12時まで

◎保険料（1名あたり）

加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
保険料	350円	500円

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは地震、噴火、津波が起因する死傷は補償されません。

- ◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
- ◆中途での、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

◎ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における主催者や参加者のケガ、主催者の賠償責任（主催者責任）を補償します。



◎補償期間（保険期間）

行事開催期間（加入手続き完了日の翌日午前0時以降の行事開催日から補償されます。）

◎保険料（1名あたり）

Aプラン（宿泊を伴わない行事）		
A1行事	A2行事	A3行事
1日 28円 （最低保険料 560円）	1日 126円 （最低保険料 2,520円）	1日 248円 （最低保険料 4,960円）

※Bプラン（宿泊を伴う行事）、Cプラン（宿泊を伴わないかつ参加者が事前に特定できない行事）もあります。



○古切手
・浜田市役所
・相生3しあわせ会
・全国視覚障害者情報提供施設
協会あさひ事業所
○タオル
・相生3しあわせ会
善意の物品寄付に対し、心より
お礼申し上げます。

善意のお礼
令和2年3月24日〜令和3年3月12日の期間中、次の収集ボランティアさんにご協力いただきました。
ありがとうございました。
（順不同・敬称略）



～浜田のボランティアセンター情報～

災害ボランティア研修会



【山下 弘彦さん】



【講演会】

1月23日（土）、浜田市総合福祉センターにおいて、76名の参加により災害ボランティア研修会を開催しました。講師に日野ボランティアネットワークの山下 弘彦さんをお招きし、『災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との協働について』と題し、ご講演いただきました。

災害に強い地域づくりのためには、日頃からのつながりや、ささえあい活動がいかに大切か、地域住民との連携についてわかりやすく教えていただき、有事のみならず日頃から住民とコミュニケーションを取り、避難行動要支援者の支援や、地域の状態を把握することが重要である事を再認識しました。また、グループに分かれての意見交換も行い、災害の段階に応じた私たちのできる事、どこに協力を求めるのかを話し合いました。

参加された皆さんが、今回の研修会を通して、学んだこと・気づいたことをそれぞれの地域に持ち帰り、地域における防災意識が少しでも高まり、支え合い・顔が見える地域づくりに繋がってほしいと思います。



【グループワーク】



【発表のようす】

社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会 ボランティア情報誌 令和3年3月発行
編集発行 浜田市ボランティアセンター 〒697-0016 浜田市野原町859-1
TEL: 0855-22-0094 FAX: 0855-22-6930

ボランティア養成講座



福祉体験学習



◎ あいサポーター研修 ◎

9月25日（金）、13名の方にご参加いただき『あいサポーター研修』を開催しました。

この研修は、誰もが多様な障がいの特性や障がいのある方の困りごと、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、そして、必要なときにちょっとした手助けができる方を養成し“やさしくて温かい地域社会づくり”をみなさんと行っていくために開催しています。

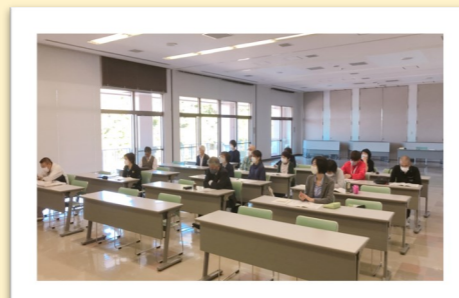
この日は、講師2名に講義いただき、ユニバーサルデザインやあいサポート運動の精神について学びを深めることができました。



◎ 認知症サポーター養成講座 ◎

10月27日（火）、16名のご参加のもと開催しました。

認知症は誰にでも起こる可能性のある脳の病気です。65歳以上の高齢者4人に1人が認知症とその予備軍になると言われています。そんな認知症に対する正しい知識と理解を身につけるため、認知症キャラバンメイトの吉川 優子さんに、認知症の方と接するときの心構えや配慮（支援）の仕方など、認知症について分かりやすく講義をしていただきました。



◎ 『はじめての手話』講座 ◎

2月20日（土）、23名の方にご参加いただき、『はじめての手話』講座を開催しました。

益田市聴覚障害者協会事務局の 中井 伸之さんを講師に迎え、手話や聴覚障がいの特性とその配慮について、とても分かりやすく、そして、手話での伝言ゲームなどを交えて楽しく教えていただきました。

日頃、健聴者として地域で暮らしている中では気づくことのできない、聴覚障がいのある方が感じる不便さや排除的な扱いがあることを知り、聴覚障がいも人それぞれに特性が違い、その方に合わせた配慮が必要であることやコミュニケーションをより丁寧に「やさしい日本語」で接することが大切であると、学ぶことができました。



◎原井小学校



【疑似体験】

◎国府小学校



【手話講座】

◎三階小学校



【アイマスク体験】

◎周布小学校



【車いす体験】

車いすバスケットボール体験♪



◎ 10月20日（火） 旭中学校 1～3年生（47名）

益田市の車いすバスケットボールチーム「三光スーパーズ」の方を講師に迎え、車いすバスケのルールや競技用車いすと一般用車いすの違いなどについて学んだ後、実際に練習・試合を行ないました。

講師の方がそれぞれのチームに加わり、下級生と上級生の垣根なく、また、校長先生をはじめとした先生方も巻き込んで、良い雰囲気の中での交流となりました。

今回の体験を通じて、障がいの有無に関係なくお互いに協力し助け合っていくことの大切さを学びました。

